

北部

Northern

一湊・吉田・永田

屋久島北部から北西部のエリアで、一湊は「首折れサバ」に代表される漁業の盛んな集落。隣りの吉田は平家の落人伝承で知られる集落で、「屋久島最古の集落」とも言われています。また永田はウミガメの産卵地でもある島唯一の美しい砂浜が見どころです。



写真提供：(一社) 屋久島観光協会



北太平洋最大のアカウミガメの産卵地 永田浜 (永田) [MAP①]

永田集落に位置する「前浜」、「いなか浜」および「四ツ瀬浜」の総称で、風化した花崗岩の白砂が広がります。永田浜はウミガメの産卵地としても知られ、ピーク時には一晩に20頭以上のウミガメが産卵に訪れます。

[所在地] 屋久島町永田 (いなか浜/バス停からすぐ)

※ウミガメ保護のため、5/1~8/31の夜間

(19:30~翌朝5:00)は永田浜への立ち入り制限あり。

産卵を観察したい場合は、「ウミガメ観察会」にご参加ください。

実施時期/例年5月中旬~7月中旬

永田ウミガメ連絡協議会 (電話 0997-45-2280)



写真提供：屋久島町

眼下に東シナ海、正面に口永良部島を望む絶景 屋久島灯台 (永田) [MAP①]

明治30年に建てられた、屋久島西端の永田岬にある白亜の灯台。現存する明治期灯台としては最南部に位置し、100年以上にわたり近海の安全を見守ってきました。

[所在地] 屋久島町永田 (永田集落の中心部から車で約5分)

※灯台の中には入れませんが、外観の見学は自由。



人里と山との境界

横河渓谷 よっこけいこく (永田) [MAP②]

永田集落の奥、永田川の中流域にある渓谷で、夏には花崗岩の大岩が作り出した自然のプールで水遊びができるスポット。また古くから人里と山を分ける神聖な場所とされており、かつては岳参りの帰路、ここで禊払いを行い、里へ戻ったと言われています。

[所在地] 屋久島町永田 (永田バス停から徒歩約25分)



巨石のある風景

花崗岩の巨石群・森山神社 (吉田) [MAP④]

吉田集落には花崗岩の巨石が点在しており、花崗岩の隆起によって生まれた、屋久島ならではの景観が広がります。森山神社はその巨石群に抱かれるように鎮座し、伝承によれば、神社前の砂浜「下の浜」は、平家の落人が屋久島で最初に上陸した地とされ、別名「浜神社」とも呼ばれています。 [所在地] 屋久島町吉田 (神社は吉田バス停からすぐ)



岳参りゆかりの神社

永田嶽神社 (永田) [MAP⑥]

15世紀末、岳参りの礎を築いたと言われる日増上人が滞在し、永田岳に登拝したとされる神社 (当時は神社の前身である長壽院)。現在でも永田集落の岳参りでは、永田嶽神社に参拝してから登り始めます。

[所在地] 屋久島町永田2797



漁業のまち一湊の氏神様

八笈嶽神社 (矢筈嶽神社) (一湊) [MAP⑦]

矢筈岬の洞窟にある神社で、地元では「八幡様」と呼ばれています。「正八幡大菩薩」と刻まれた黒石を見つけたことをきっかけに建立されたと言われ、洞窟に入った猫が、種子島の熊野神社で発見されたという伝説も残っています。

[所在地] 屋久島町一湊2292

島内最大の海水浴場 一湊海水浴場 (一湊) [MAP⑦]

天然の入江は波が穏やかで、水質の良さでも知られます。シーズンには出店もあり、多くの海水浴客で賑わいます。またダイビングポイントとしても有名で、大きなサンゴや色とりどりの魚たちと出会えます。

[所在地] 屋久島町一湊 (矢筈バス停からすぐ) [海水浴場開設時期] 例年7月中旬~8月



写真提供：屋久島町



塩で食べる豆腐が絶品!

柴とうふ店 (永田のとうふ) (永田) [MAP⑧]

屋久島の美味しい水で作った「永田のとうふ」で知られる豆腐店。永田集落の高台にあり、木綿豆腐とできたて豆乳、それときらず揚げと呼ばれるおからのお菓子が付いた、イートイン限定の「柴セット」が人気です。

[所在地] 屋久島町永田1377-2 [営業時間] 8:00~17:00 (無くなり次第、終了)

[定休日] 日・月曜・年末年始、他臨時休業あり [電話] 0997-45-2048

天然樟脳の製造所 くすのきガレージ (一湊) [MAP⑨]

屋久島産のクスノキと水だけで、天然樟脳とエッセンシャルオイルを製造しています。樟脳の製法は16世紀に日本に伝わったとされ、薩摩藩の特産品として莫大な利益をもたらし、幕末政変の原動力になったとも言われています。

[所在地] 屋久島町一湊2281-8

[電話] 090-7825-9994 ※工場見学の際は事前連絡を。



南部

Southern

① 尾之間・
麦生・原・小島

屋久島の南部・南東部に位置し、島の中でも比較的温暖なエリア。そのため、たんかん、ぼんかんなどの栽培も盛んです。「東洋のmatterホルン」とも呼ばれるモッコム岳を望む景観も見どころです。また屋久島を代表する温泉のひとつ、尾之間温泉も是非訪れたスポットです。



南部地区



屋久島三大名瀑のひとつ

蛇之口滝 (小島) [MAP①]

落差30m・幅約100mの壮大な滝。尾之間温泉近くの登山道を約3.5km進むと、亜熱帯の森の中に花崗岩を滑るように流れ落ちる美しい滝が現れます。「遊歩道」と呼ばれていますが、実際は登山道ですので、しっかりとした装備で。

〔所在地〕屋久島町小島(蛇之口滝)

※遊歩道入口は尾之間温泉駐車場横(屋久島町尾之間1291)



地元で愛される名湯

尾之間温泉 (尾之間) [MAP②]

開湯は今から約350年前、鉄砲で撃たれた鹿が傷を癒していたことから発見されたと伝わっています。泉質は単純硫黄泉で、49℃とちょっと熱めの源泉をかけ流しています。向かいにはカフェ「サロン湯の峯」があり、豆乳ソフトクリームが人気です。

〔所在地〕屋久島町尾之間1291

〔営業時間〕7:00~21:00(月曜は12:00~)

〔定休日〕月曜午前中 [電話] 0997-47-2872

日本仏教の礎を築いた

鑑真ゆかりの地・尾之間 [MAP③]

天平勝宝5年(753)、6度目の挑戦でようやく来日を果たした唐僧・鑑真が初めて日本の土を踏んだのが屋久島でした。上陸地はいくつか伝承がありますが、そのうちのひとつが尾之間集落の「ミヤカタの浜」と言われており、記念碑が立っています。

〔所在地〕屋久島町尾之間

(記念碑は中野バス停より徒歩約10分)



ミヤカタの浜

鎖国下の日本に影響を残す

神父シドッチ上陸記念碑・

シドッチ上陸地展望タワー (小島) [MAP④]

シドッチ(シドッチとも)は1708年、布教のため屋久島に上陸したカトリック司祭。捕らえられた後、江戸に護送され、死ぬまで幽閉されました。シドッチへの尋問をもとに新井白石がまとめた『西洋紀聞』は、鎖国下の日本における西洋理解に大きな影響を与えたとされています。東京小石川の「切支丹屋敷」に幽閉されていたシドッチは、1714年、47歳で息を引き取りました。その300年後の2014年、屋敷跡地での発掘調査で人骨が出土。DNA鑑定の結果、シドッチの遺骨である可能性が極めて高いことが分かり、大きな話題となりました。上陸記念碑の200mほど手前、シドッチ記念教会の奥には、「第4回あなたが選ぶかごしま景観大賞」で大賞受賞のシドッチ上陸地展望タワーがあり、夕日の絶景スポットとしておすすめです。

〔所在地〕屋久島町小島(小島バス停から徒歩約5分)



デザイン設計:ウィリアム・ブロー



良縁祈願の「夜籠り(よごもり)」

保食神社 うけもちじんじや (尾之間) [MAP⑤]

五穀豊穡を願う倉稲魂神を祀る神社。屋久島南部には「夜籠り」という行事があり、尾之間ではここ保食神社で行われます。夜籠りとは若い男女が中心となり、神無月に留守をする神様の見送りとお迎えをする行事で、かつては若い人たちの貴重な出会いの場だったそうです。

〔所在地〕屋久島町尾之間977-1

お土産も豊富に揃う直売所

ぼん・たん館 (麦生) [MAP⑥]

屋久島特産の柑橘類「ぼんかん」、「たんかん」にちなんで名付けられた直売所、島の農産物や加工品をはじめ、お土産や工芸品などが揃います。滝が直接海に流れ落ちるトローキの滝の展望所もすぐそばです。

〔所在地〕屋久島町麦生898-2 [営業時間] 8:30~17:30

〔定休日〕年末年始 [電話] 0997-47-2557



メイド・イン・屋久島がテーマのおやつ工房&カフェ

やくしま果鈴 (尾之間) [MAP⑦]

モッコム岳を眺めながらゆっくりと過ごせる店内で、島の素材を使ったスムージーやジュース、珈琲、手作りの焼き菓子が楽しめるお店。看板メニューの「屋久島スムージー」は抜群のフルーツ感が魅力。お土産には「フィナンシェヤクシマーノ」が人気です。

〔所在地〕屋久島町尾之間672-1 [営業時間] 10:00~17:00 [電話] 070-8940-6721

〔定休日〕日・月曜(イレギュラーあり。公式インスタグラムにて確認を)



南部

Southern

②平内・湯泊・栗生・中間

島の南部から南西部にかけてのエリア。かつての琉球航路の要衝で、またカツオ漁でも栄えた港町・栗生をはじめ、石垣の家並みや小径での散策が楽しみな中間、海辺の露天風呂が人気の湯泊・平内など、個性的な集落が揃います。

南国風情を感じる 中間ガジュマルと集落内石垣

中間 [MAP①]

中間は島の南西にある集落で、入ってすぐの中間橋のたもとには、樹齢500年と言われる巨大な「中間のガジュマル」があります。傾斜地のエリアでは、明治期に地元の石工・清水伊太郎らが造った石塀や石垣の家並みが残っており、南国らしい景観をつくっています。

[所在地] 屋久島町中間 (中間バス停から徒歩約5分)



海辺の温泉で 屋久島時間を満喫

いずれも地元の人々の湯治場として古くから利用されてきた温泉で、波の音を聞きながらの湯浴みは屋久島ならではの体験です！



野趣あふれる露天風呂 湯泊温泉 [湯泊] [MAP②]

湯泊の浜辺に湧く天然の露天風呂。波音と夕日に包まれ、海を間近に感じながら入浴できる温泉です。水着・下着での入浴はNG、女風呂に限り湯浴み着の着用ができます。脱衣所は駐車場横です。

[所在地] 屋久島町湯泊1714-28

[営業時間] 24時間利用可能 [定休日] 無し

入れるのは干潮時だけ！ 平内海中温泉 [平内] [MAP③]

湯泊のお隣り、平内集落にある天然温泉。干潮時のわずかな時間だけ現れる秘湯で、浴槽は磯のくぼみを少し深くしたただけなので、波がそのまま流れ込んでくる浴槽も。男女混浴で、水着・下着はNG、バスタオル巻きや湯浴み着はOKです。脱衣所はありません。

[所在地] 屋久島町平内 (平内海中温泉バス停から徒歩約10分)

[営業時間] 1日2回の干潮の前後約2時間 [定休日] 無し



島の暮らしを伝える

平内民具倉庫 [平内] [MAP④]

その名の通り、平内集落にある民具の倉庫。1985年頃から旧屋久町の集落や個人から寄贈された民具を、廃校になった中学校の講堂で収蔵・管理しているところで、月に2日だけ一般公開しています。

[所在地] 屋久島町平内 (八幡中講堂跡) [営業時間] 9:00~17:00

[公開日] : 毎月第2土・日曜

[電話] 0997-42-1900 (歴史民俗資料館)

屋久島に春を告げる

栗生神社 [栗生] [MAP⑤]

屋久島で益教神社に次いで古いとされる神社。毎年2月25日に行われる「浜下り」は江戸時代初期から続く神事で、御祭神のホホデノミコト (山幸彦) を神輿に乗せ、浜で禊を行うもの。地元では春を告げる祭りとして親しまれています。

[所在地] 屋久島町栗生1698

屋久島青少年旅行村 [栗生] [MAP⑥]

屋久島南西部・栗生川河口にある町営キャンプ場。ログハウスやキャンプ設備が整い、栗生川でのカヌーやSUPなどの自然体験も充実。絶景の夕日や満天の星空も楽しめるロケーションです。

[所在地] 屋久島町栗生2911-2 [開設期間] 4~10月

[電話] 期間中0997-48-2871、期間外0997-48-2807 (栗生生活館)



写真提供: 屋久島町

島の風景を器に込める

屋久島焼 新八野窯 [平内] [MAP⑦]

屋久島の自然をイメージした、鮮やかなブルーとグリーンが作品の特徴で、サンゴを作品と一緒に窯で焼く独自技法がこの色を生み出します。15種類のオリジナル釉薬の中から好きな色を選んで作る、陶芸体験も行っています。

[所在地] 屋久島町平内630-4 [営業時間] 8:30~17:30

[定休日] 不定休 [電話] 0997-47-2624



アップルパイが人気のベーカリー

くりおのくらし [栗生] [MAP⑧]

結婚を機に栗生集落で暮らしはじめた女性たちがパンやお菓子を作っているベーカリー。看板メニューは月に500個以上売れるアップルパイで、「お供え物のリンゴを活用したい」と考えた、地元のお寺の住職でもある社長のアイデアで生まれました。

[所在地] 屋久島町栗生1658 [営業時間] 11:00~15:00

[定休日] 水・木曜 [電話] 090-2420-8089

